



経済学部同窓会初めてのWEB総会・講演会を 11月28日(土)に開催いたします！

東京オリンピックを迎えて、日本中が感動に包まれる1年となるはずだった2020年。しかし現実には、未曾有の新型コロナウイルス感染症の拡大により、たいへん厳しい毎日が続いております。経済学部同窓生のみなさまは、いかがお過ごしでしょうか。

さて、2020年度は2年に1度の同窓会総会の開催年であり、経済学部同窓会役員会において、新型コロナウイルス禍の中での開催方法について慎重に検討した結果、WEBを活用したオンライン形式で開催することを決定しました。また、総会の開催と併せて、経済学部同窓会企画として、経済学部OBで現在経済学部長の河音琢郎教授によるWEB講演会も開催します。

経済学部同窓会としては、総会・講演会は初めてのWEB実施となり、みなさまはご自宅からお気軽にWEBでご参加いただけます。学部長の講演をお聞きいただく機会もなかなかありませんので、この機会に普段はあまりご参加いただけない遠方にお住まいの方も含め、ぜひ同窓生のみなさまのご参加をお待ちしています！



立命館大学経済学部同窓会 第13回総会・講演会

日時 2020年11月28日(土)

13:30 | 第13回総会
13:50 | 講演会～経済学部長による特別講義～
15:00 | 終了予定

開催方法：WEBでの実施

※お手持ちのPCやスマートフォン、タブレットからご参加いただけます
インターネット接続が必要です

参加方法（URL等）の詳細については、参加申し込みを行っていただいた方に、別途ご案内をさせていただきます。

参加費
無料

事前
申込制

参加申し込みはこちらから！

<http://r-ec alumni.com/event/>



『これからのアメリカ政治経済はどこへ向かうのか —2020 年大統領選挙結果を踏まえて』



講師： **河音 琢郎** (かわね たくろう) 氏
立命館大学経済学部長

講義概要

2016 年の大統領選挙でのトランプ政権の誕生は世界中を驚かせました。それから 4 年間、トランプ政権では好調な株価に象徴される経済成長が喧伝される一方で、人種や党派間の分断、経済格差のさらなる拡大、迷走するトランプ外交と国際秩序の混乱、米中対立の激化など話題に事欠かない慌ただしい事態が続きました。

それに輪をかけて、今般のコロナ禍でアメリカは世界最大の感染拡大国となり、人種差別の問題が劇的にクローズアップされる中、2020 年の大統領選挙を迎えます。

この講演会では、11 月の大統領選挙結果を踏まえて、こうした激動するアメリカが今後どのような方向へ向かうのか、皆さんと一緒に考えてみたいと思います。

【講師プロフィール】

1990 年立命館大学経済学部卒。アメリカ財政の研究を志し、和歌山大学（助手・講師・准教授・教授）を経て、2011 年より立命館大学教授として赴任（財政学を担当）。2015-16 年に国外研究の機会を得て、アメリカ、ヴァージニア大学で激動するアメリカの機微に触れて暮らす。帰国後、トランプ政権下のアメリカ政治経済についてゼミ生とともに研究を続けている。近著：河音琢郎、藤木剛康編著（2016）『オバマ政権の経済政策』ミネルヴァ書房。2019 年 4 月より経済学部長。

■ 企画詳細について

企画詳細は以下の経済学部同窓会 Facebook・ホームページにてご案内致します。

Facebook <https://www.facebook.com/ritsumeikan.keizai.alumni/>

ホームページ <http://r-ecalumni.com>



お問い合わせ

立命館大学経済学部同窓会事務局

TEL 077-561-3940 FAX 077-561-3947 滋賀県草津市野路東 1-1-1 立命館大学経済学部事務室内